

# 非常時に備えるために…

いざという時に家族があわてず行動できるよう、家族防災会議を開いて次のようなことを話しあい、家族一人ひとりの役割分担や対処方法を決めておきましょう。

## 家族での話し合いと準備

- 家の中で一番安全な場所を確認しておく。
- 要配慮者の支援方法を決める。
- 非常時の役割分担を一人ひとり決める。
- 避難等で家族が離れ離れになった時の連絡方法を決める。
- 自宅から避難場所まで、複数のルートで実際に歩いてみる。
- 食糧やラジオの電池等の備蓄品を点検しておく。
- 避難時の持出用品を日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしておく。
- 家屋・家の中の危険箇所をチェックする。



## 日頃からの確認を

- 地図上であなたの家と避難場所を確認し、避難場所までの方向や道順を防災マップに書き入れておく。
  - 家族や近所同士で避難場所まで実際に歩いてみて、避難経路を確認する。
- ※ 避難場所や避難経路は下見をしておく、いざという時にあわてなくて済みます。
- ※ 外出している家族が、交通機関のマヒなどで帰宅できない場合もあります。離れ離れになってしまった場合に備え、連絡方法や避難場所は日頃から十分話し合っておきましょう。

## 持出用品等の準備

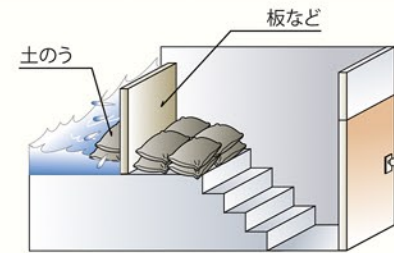
- 避難するときのため、必要最低限の持出用品と、非常時のための備蓄品を準備しておく。
- 最低でも3日分の食糧と3日分の飲料水(1人1日3リットル)が必要。**

### 備蓄・非常持出用品



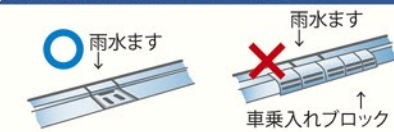
## 浸水防止等の準備

### 地下施設の浸水対策



浸水する危険がある地下室や地下駐車場などには、土のう・止水板・排水設備(ポンプ)などを整備し、日頃から点検を心がけましょう。

### 側溝や雨水ますの清掃

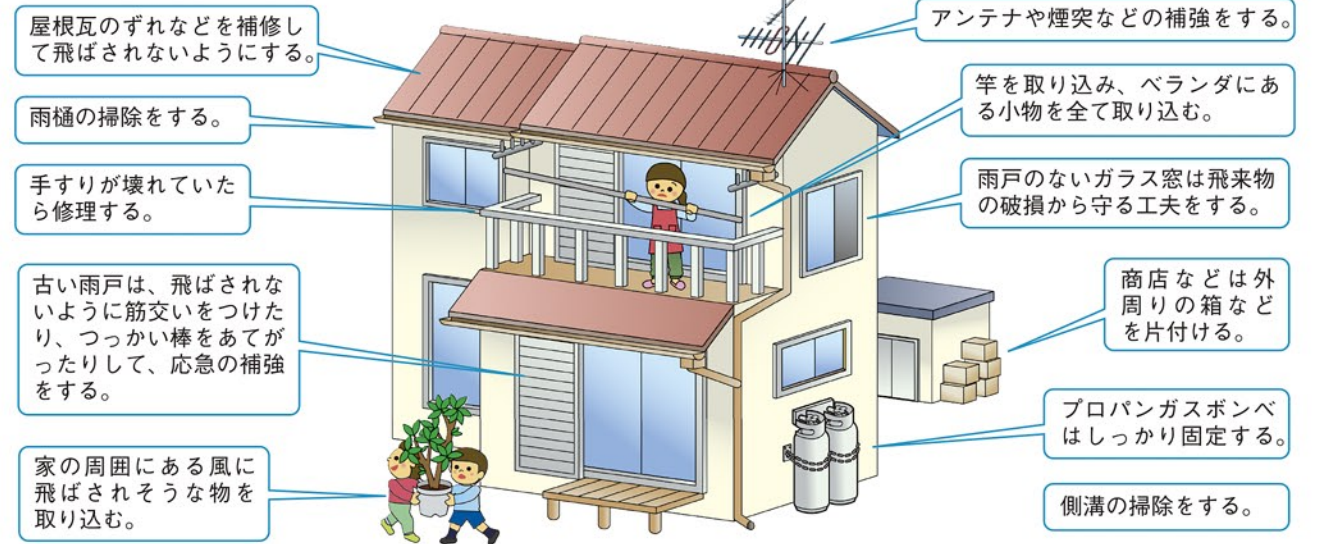


道路沿いの「側溝」や「雨水ます」の上に物を置かないでください。  
側溝や雨水ますが詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。日頃からの清掃にご協力をお願いします。

## 建物などの事前準備

台風や集中豪雨はある程度予測できる災害です。情報を入手し、しっかりした準備をしておきましょう。

- 浸水の危険がある場合には、大切な家財道具は二階や高い安全な場所に移動する。



## 雨の強さと降り方

(気象庁による)

1時間雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響
10以上 ~20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる
20以上 ~30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる
30以上 ~50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	
50以上 ~80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感や恐怖を感じる	

※表は、この強さの雨が1時間降り続いたと仮定した場合の目安を示しています。

## 風の強さと吹き方

(気象庁による)

予報用語	平均風速(m/s)	およその時速	速さの目安	人への影響
やや強い風	10以上 15未満	~50km	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。
強い風	15以上 20未満	~70km		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。
非常に強い風	20以上 25未満	~90km	高速道路の自動車	何かにつかまっていけないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。
	25以上 30未満	~110km		
	30以上 35未満	~125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。
猛烈な風	35以上 40未満	~140km		
	40以上	140km~		

※表に示した風速は、10分間の平均風速です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍から3倍以上になることがあります。

## 気象情報の発表基準

(気象庁による)

気象台より発表される様々な情報に注意しましょう。

種類	発表の時期	発表の基準
大雨	注意報	大雨によって、災害が起こるおそれがある場合 1時間雨量 20mm 土壌雨量指数基準: 141
	警報	大雨によって、重大な災害が起こるおそれがある場合 1時間雨量 40mm 土壌雨量指数基準: 167
	記録的短時間大雨情報 特別警報	1時間雨量 100mm 数十年に一度の規模の大雨が予想される場合
洪水	注意報	洪水によって、災害が起こるおそれがある場合 1時間雨量 20mm 流域雨量指数基準: 石神井川流域=5
	警報	洪水によって、重大な災害が起こるおそれがある場合 1時間雨量 40mm 流域雨量指数基準: 石神井川流域=6
強風	注意報	強風によって、災害が起こるおそれがある場合 平均風速 13m/s
暴風	警報	暴風によって重大な災害が発生するおそれがある場合 平均風速 25m/s
	特別警報	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合

※「土壌雨量指数」とは …… 土壌雨量指数は、降雨による土砂災害発生危険性を示す指標で、土壌中に貯まっている雨水の量を示す指数。  
 ※「流域雨量指数」とは …… 流域雨量指数は、降雨による洪水災害発生危険性を示す指標で、対象となる地域・時刻に存在する流域の雨水の量を示す指数。  
 ※「土壌雨量指数」「流域雨量指数」の詳細な説明については、気象庁ホームページをご覧ください。http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/warning.html  
 ※「記録的短時間大雨情報」とは …… 大雨警報発表時に、現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために発表するものです。